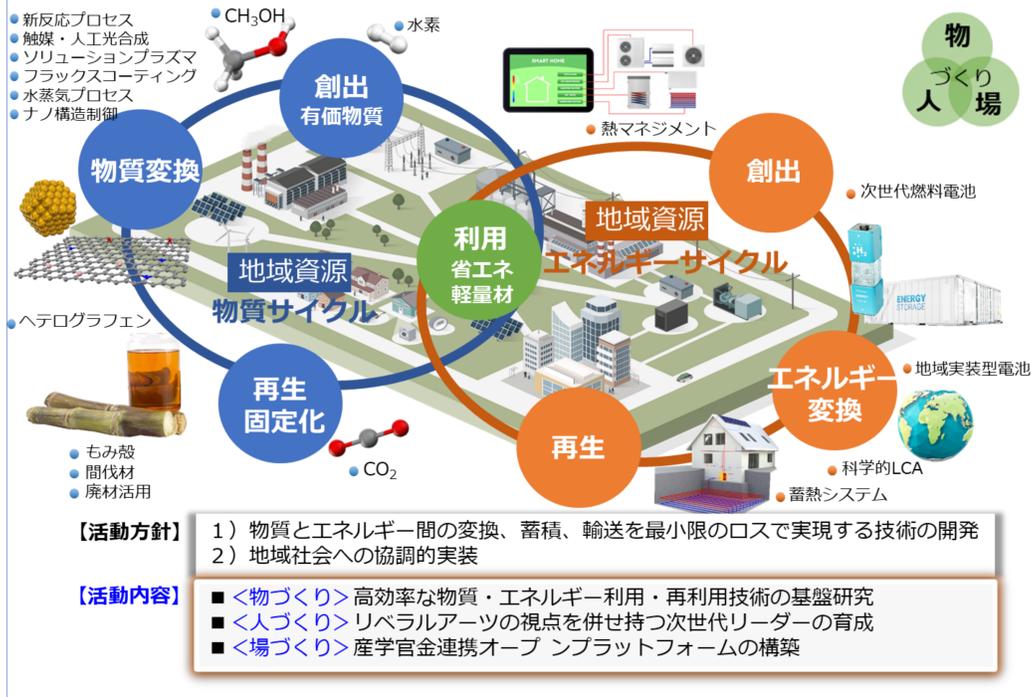


目的

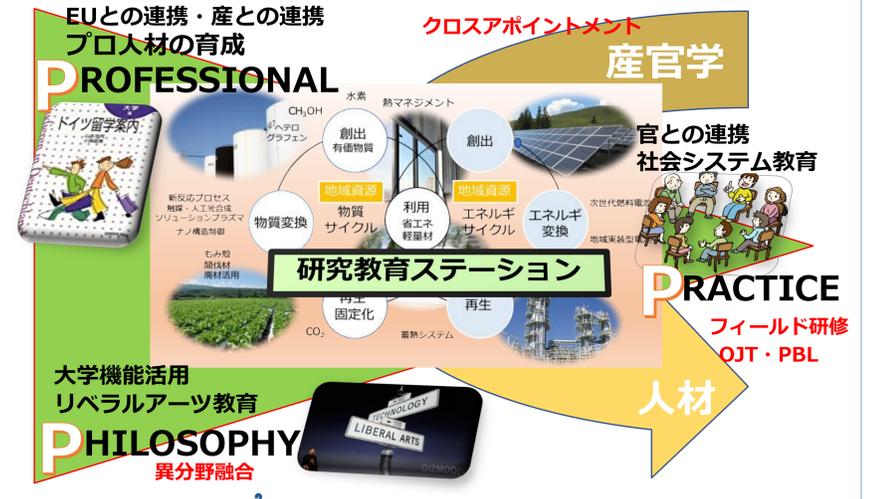
名古屋大学と大阪府立大学、芝浦工業大学、東京理科大学が共同で提案し、採択された産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(以下、OPERA)は、産業界との協力による新たな基幹産業の育成に向けた「技術・システム革新シナリオ」の作成と、それに基づく学問的挑戦性と産業的革新性を併せ持つ非競争領域での研究開発を実施します。その共同研究により、新たな基幹産業の育成の核となる革新的技術の創出を目指すとともに、新たな基幹産業の育成が図れる持続的な研究環境・研究体制・人材育成システムを持つプラットフォームを形成することを目的とします。

「物質・エネルギーリノベーション共創コンソーシアム」

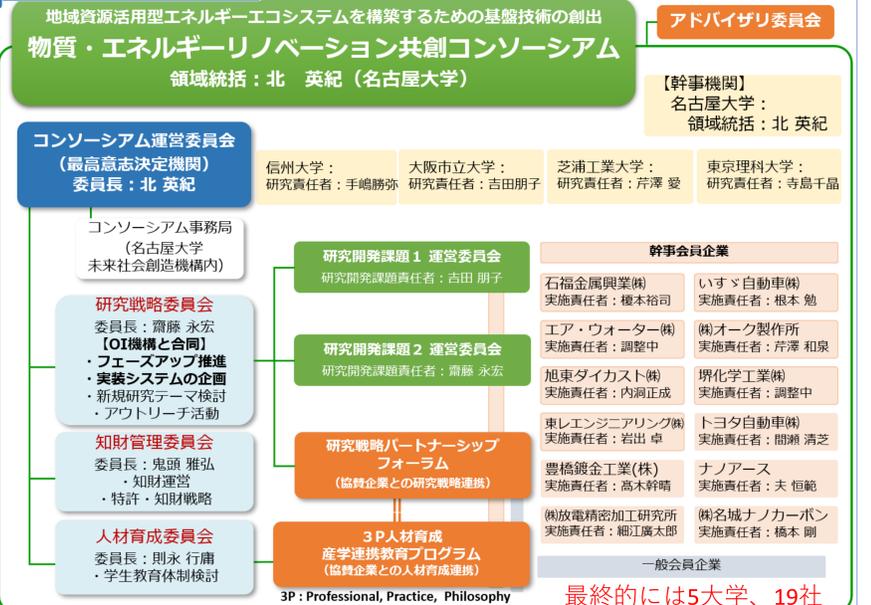
地域社会に活力と安心をもたらす「地域資源活用型エネルギーエコシステム」の構築
新たな価値“Aging in Place”の追求：住みなれた地域で元気に未永く生活し次世代に継承



人材育成方針

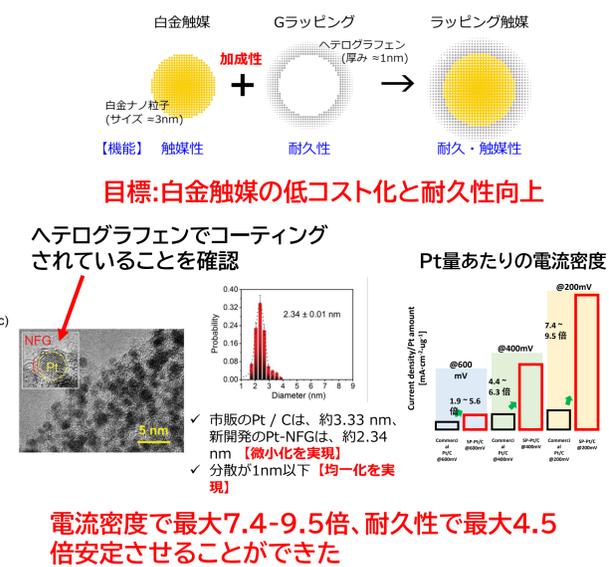


組織体制

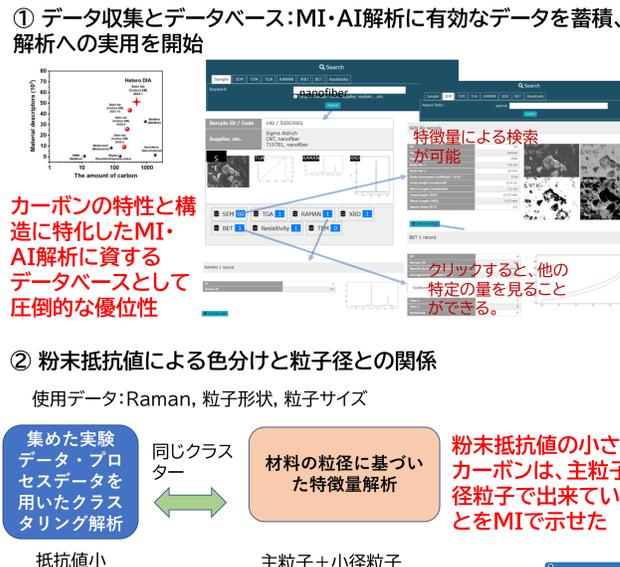


主たる成果一競争領域へ移行した内容

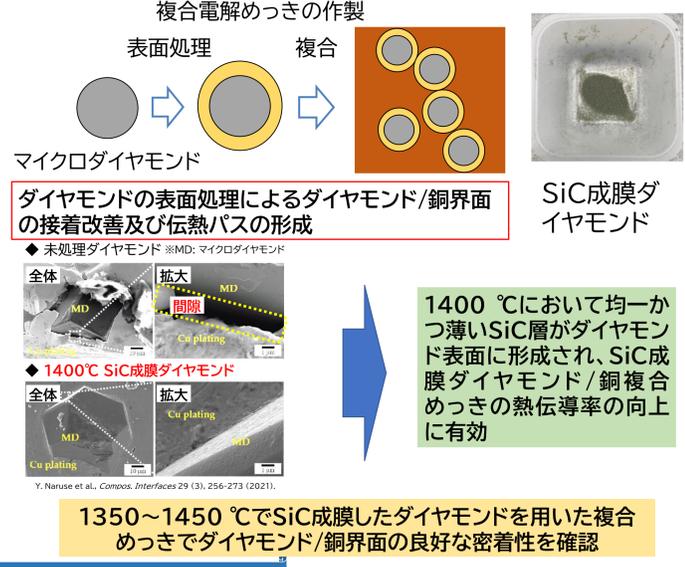
課題1-1-1 ヘテログラフェン酸素還元触媒の開発



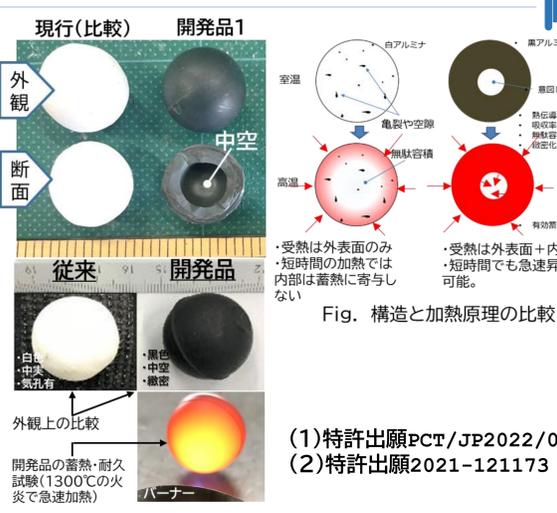
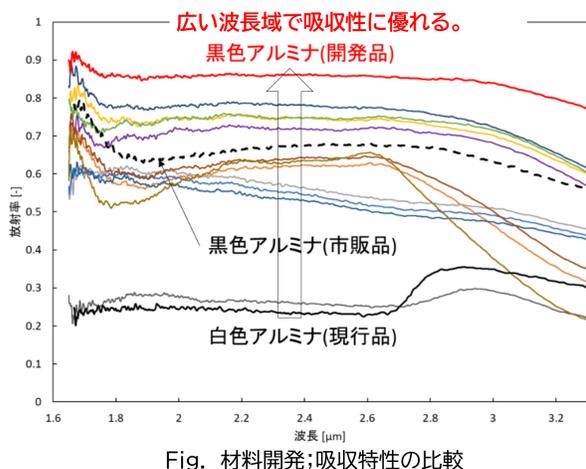
課題1-1-2 カーボンデータベース



課題2-1-1 熱伝導材料



課題3 輻射効果に優れたアルミナ中空構造体



社会実装に向けた計画

FY→	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	備考
1-1-1 白金フリー酸素還元触媒HG	実証研究		R	量産準備、製造設備拡充						製造・販売
1-1-2 機能構造解析システムHG	市場調査、内容検討		R	製品改良、有効性検証						第三者への販売 and/or 企業内での活用
3-1-1 蓄熱体適用に向けたセラミックスの特性改良と形状効果【選択吸収アルミナ】	生産準備									現在ライセンス契約検討中の2社を特定。ISOについては現在F5委員会での審議中。提案は決定。2022年度末にプロジェクト化の判断あり。
3-1-1 同【高温PCM】	技術移転先の調査		R	生産準備						製造・販売
3-1-2 科学的LCAの開発【エネルギー解析ソフトウェア】	市場調査、内容検討		R	製品改良						現在、科学専門出版社2社から依頼を受け、7社ミーティング。また本年度に通信講座を開催する。ソフトウェアとして販売するかどうか検討中。